

# 第1回 福岡空港調査連絡調整会議 配付資料一覧

次第

配席図

資料1 福岡空港調査連絡調整会議開催要領(案)

資料2 福岡空港を巡る最近の情勢

資料3 福岡空港の総合的な調査(案)

資料4 福岡空港の総合的な調査 平成15年度の実施内容(案)

資料5 今後の開催予定

# 第1回福岡空港調査連絡調整会議 次 第

日時 平成15年7月30日(水)  
13:30~14:45  
場所 福岡国際会議場  
5階 502会議室

## 1. 開会

2. 国代表挨拶 国土交通省九州地方整備局副局長

3. 地域代表挨拶 福岡県副知事

## 4. 出席者紹介

## 5. 議事

(1) 連絡調整会議の開催要領(案)について

(2) 福岡空港の総合的な調査について

福岡空港を巡る最近の情勢

福岡空港の総合的な調査(案)

福岡空港の総合的な調査 平成15年度の実施内容(案)

その他

(3) 意見交換等

## 6. 閉会

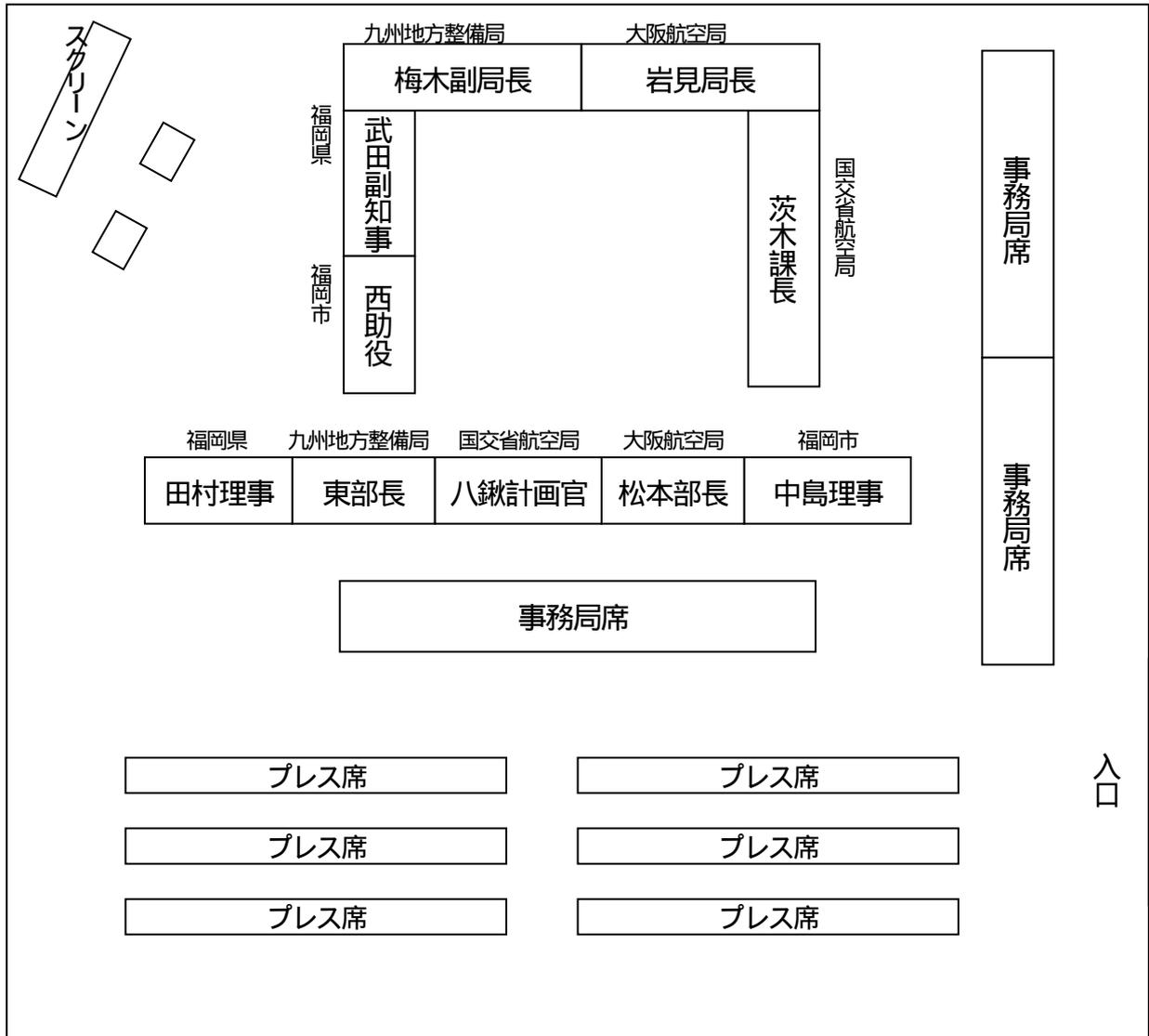
# 第1回福岡空港調査連絡調整会議 配席図

日時 平成15年7月30日(水)

13:30~14:45

場所 福岡国際会議場

5階 502会議室



## 福岡空港調査連絡調整会議開催要領（案）

### 1 会議の目的

本会議は、福岡空港が抱える課題と対応策について、国と地域が連携して、調査の透明性を確保しつつ、幅広い合意形成を図りながら総合的な調査を進めるにあたり、関係者の連絡調整を図り、もって本調査の円滑かつ効率的な推進に資することを目的とする。

### 2 連絡調整事項

- (1) 福岡空港の総合的な調査の内容及び進め方に関する事
- (2) 福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集の進め方の検討に関する事

### 3 構成

会議は、別表 1 の者で構成する。

また、会議には幹事会を別途設け、別表 2 の者で構成する。

### 4 会議

会議は必要に応じ開催する。

会議には、国土交通省航空局職員が出席できる。

別表 1

国土交通省九州地方整備局長

国土交通省大阪航空局長

福岡県副知事

福岡市助役

別表 2

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長

国土交通省大阪航空局飛行場部長

福岡県企画振興部理事

福岡市総務企画局理事

# 福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集の進め方の検討について

## 1 基本的な考え方

平成15年度から国と地域が連携して福岡空港の総合的な調査を進めるに当たっては、調査の透明性及び中立・公正性の確保が必須である。

したがって、積極的かつ広範な情報の提供を行い、県民、市民や学識者の幅広い意見を反映させることとし、P Iの手法等も検討しながら、全国のモデルとなるような取り組みを進めていく。

## 2 策定スケジュール

- ・平成15年度において検討を予定。

## 3 策定方針

- ・国、県、市が協働して検討する。
- ・P I等に知見を有する学識者の意見を聞きながら検討する。

# 福岡空港を巡る最近の情勢

## 1. 福岡空港の概況

< 交通政策審議会航空分科会答申 平成 14 年 12 月 >

福岡空港は、路線展開と利用の状況などから、国内航空ネットワークの地域拠点として大都市圏拠点空港に次ぐ主要地域拠点空港として重要な役割を果たしている。

福岡空港については、将来的に需給が逼迫する等の事態が予想されることから、将来にわたって国内外航空ネットワークにおける拠点性を発揮しうよう、各圏域における今後の航空需要の動向等を勘案しつつ、既存ストックの有効活用方策、近隣空港との連携方策とともに中長期的な観点からの新空港、滑走路増設等を含めた抜本的な空港能力向上方策等について、幅広い合意形成を図りつつ、国と地域が連携し、総合的な調査を進める必要がある。

< 概況 >

空港種別 / 第2種  
 設置管理者 / 国土交通大臣  
 標高 / 9.1m  
 面積 / 353ha  
 滑走路 / 2,800m × 60m  
 運用時間 / 24時間  
 利用時間 / 7:00 ~ 22:00

< 沿革 >

1945 年 (昭和 20 年) 5 月 席田飛行場開港

10 月 米軍接收、その後「板付飛行場」となる

1972 年 (昭和 47 年) 4 月 米軍板付飛行場を返還、第2種空港「福岡空港」となる

1999 年 (平成 11 年) 5 月 新国際線旅客ターミナルビル供用開始

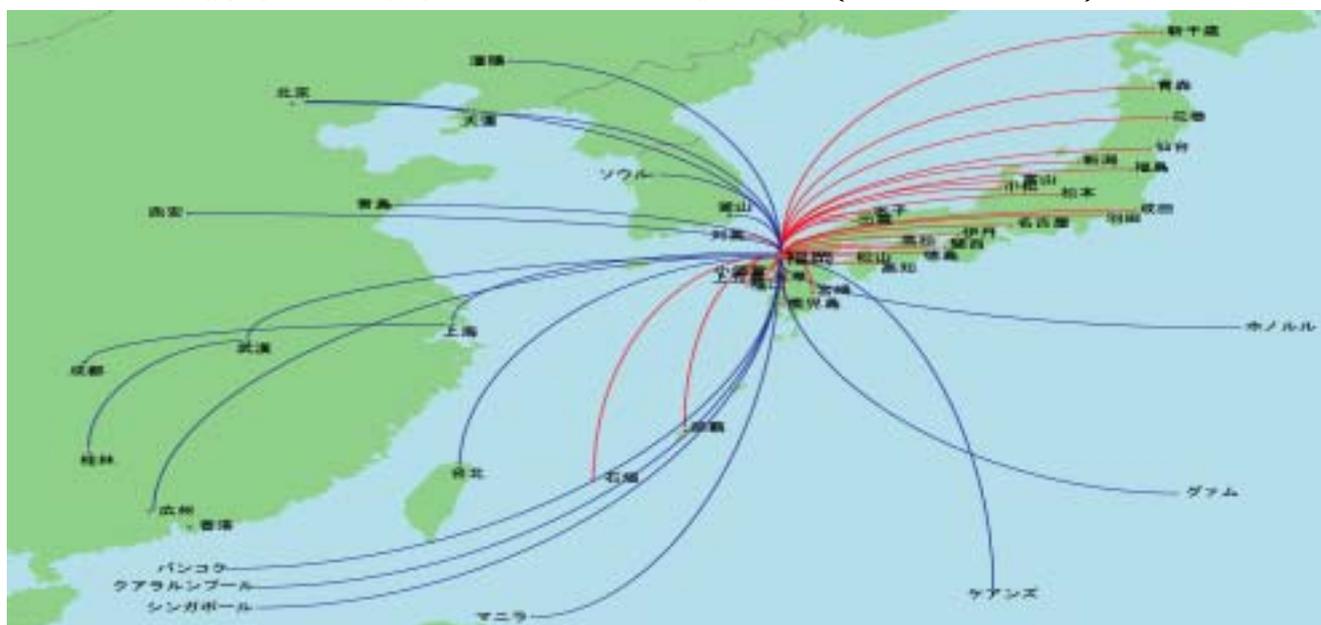
## 2. 福岡空港の現状と課題

< 国内・国際航空路線 >

・ 国内航空ネットワークの地域拠点、アジアとのゲートウェイとして極めて重要な役割を果たす。

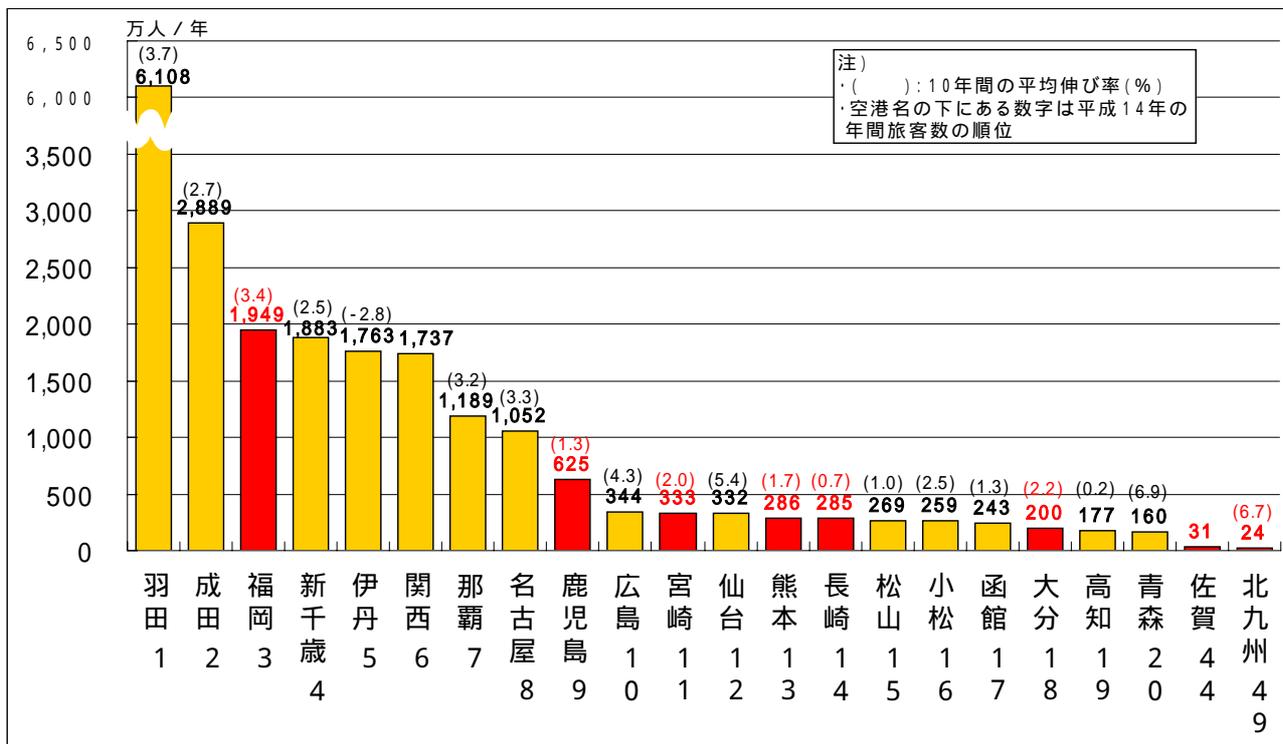
国内線 29 路線 1 日最大 306 便

国際線 22 路線 週 256 便 (2003.5.1)



## < 主要空港の旅客数(平成14年) >

- ・ 福岡空港の乗降客数は約 2 千万人で全国 3 位
- ・ 乗降客数が多い空港で全国の上位 20 位までに九州の 6 つの空港が入っている。



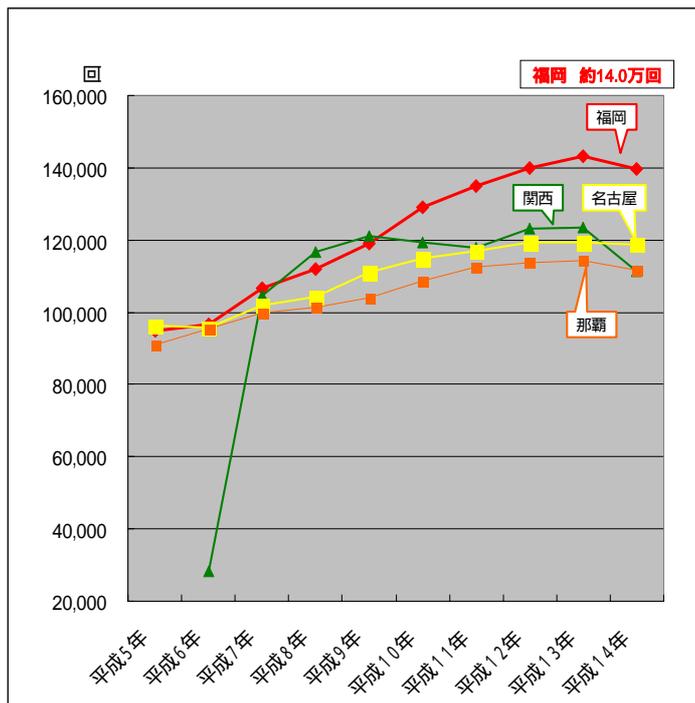
## < 年間離着陸回数 >

- ・ 福岡空港の離着陸回数は約 14 万回で全国第 3 位 (平成 14 年)
- ・ 滑走路 1 本当たりの離着陸回数は全国 1 位

### 主要空港の離着陸回数・滑走路本数

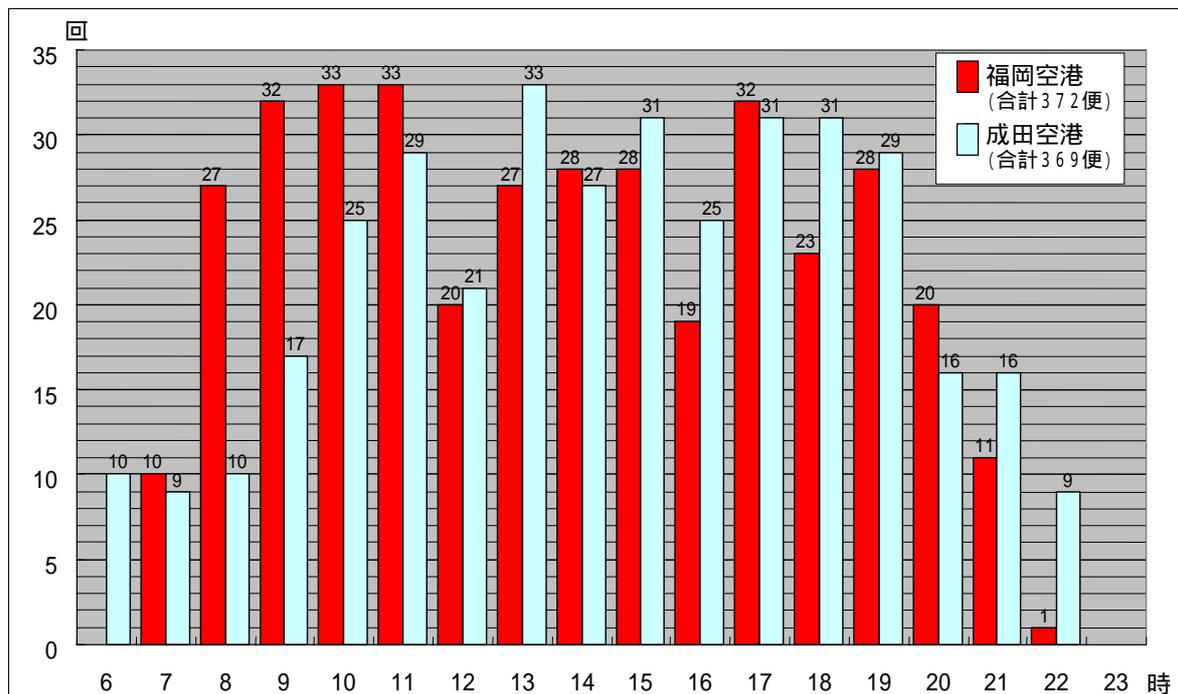
順位	空港名	離着陸回数(万回/年)	滑走路本数(本)
1	東京国際	28.3	3(4本目検討中)
2	成田	16.4	2
3	福岡	14.0	1
4	名古屋	11.9	1(新空港整備中)
5	那覇	11.2	1
6	関西国際	11.1	1(2本目整備中)
7	大阪国際	10.5	2
8	新千歳	9.9	2
9	鹿児島	7.2	1

### 滑走路 1 本の空港の離着陸回数の推移



### < 時間帯別 離着陸回数 >

- ・ 午前中と夕方の時間帯では時間あたり30便を超えている（平成13年8月）
- ・ 成田空港と比較すると、福岡空港の離着陸回数が上回る時間帯もある。



注)成田空港は、航空法第107条の混雑空港に指定されている。1時間あたりの発着回数は32便に、1日あたりの発着回数が370便に制限されていたが、H14年4月に2本目の滑走路の供用で発着回数が増加している。

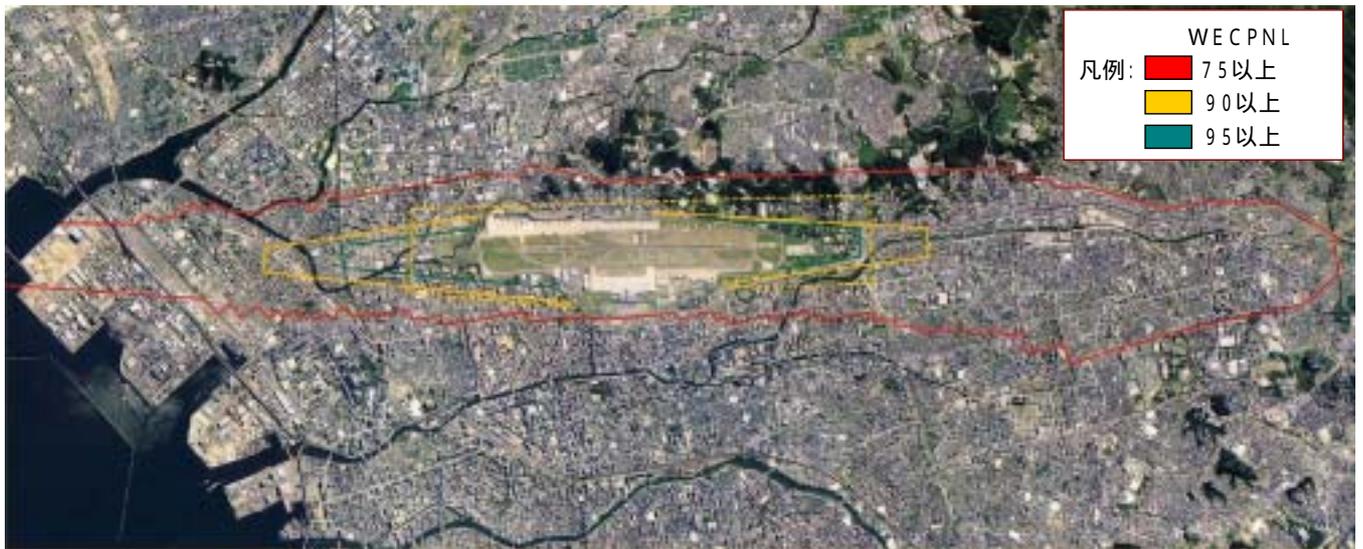
### < 混雑する福岡空港 >

- ・ 混雑時間帯においては滑走路の利用待ちの状況が生じている。



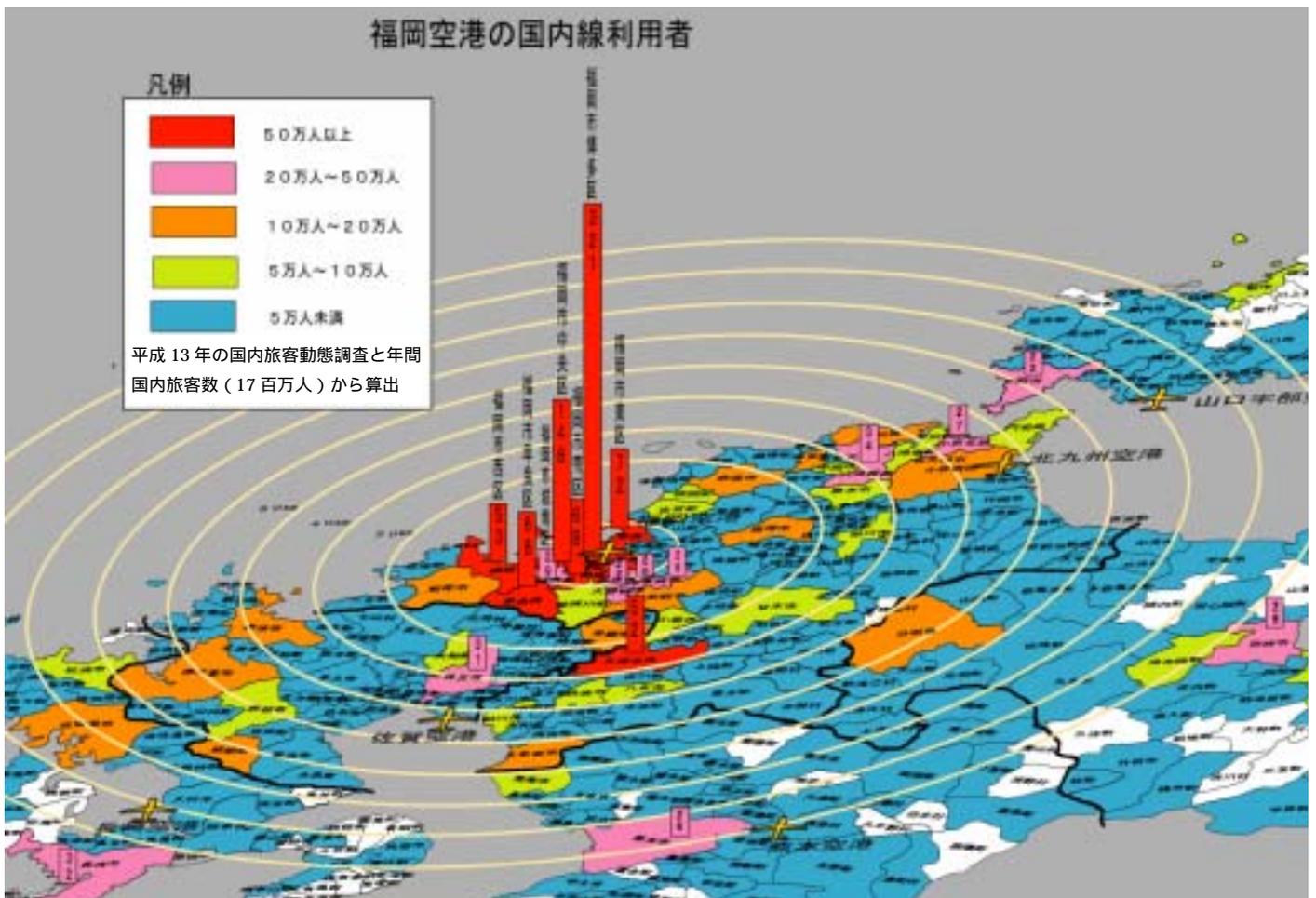
### < 航空機騒音指定区域図 >

- ・ 空港面積 3 5 0 h a のうち、1 / 3 は民有地、2 / 3 は官有地
- ・ 指定面積 2 , 0 4 8 h a、対象世帯数約 3 4 , 0 0 0 世帯



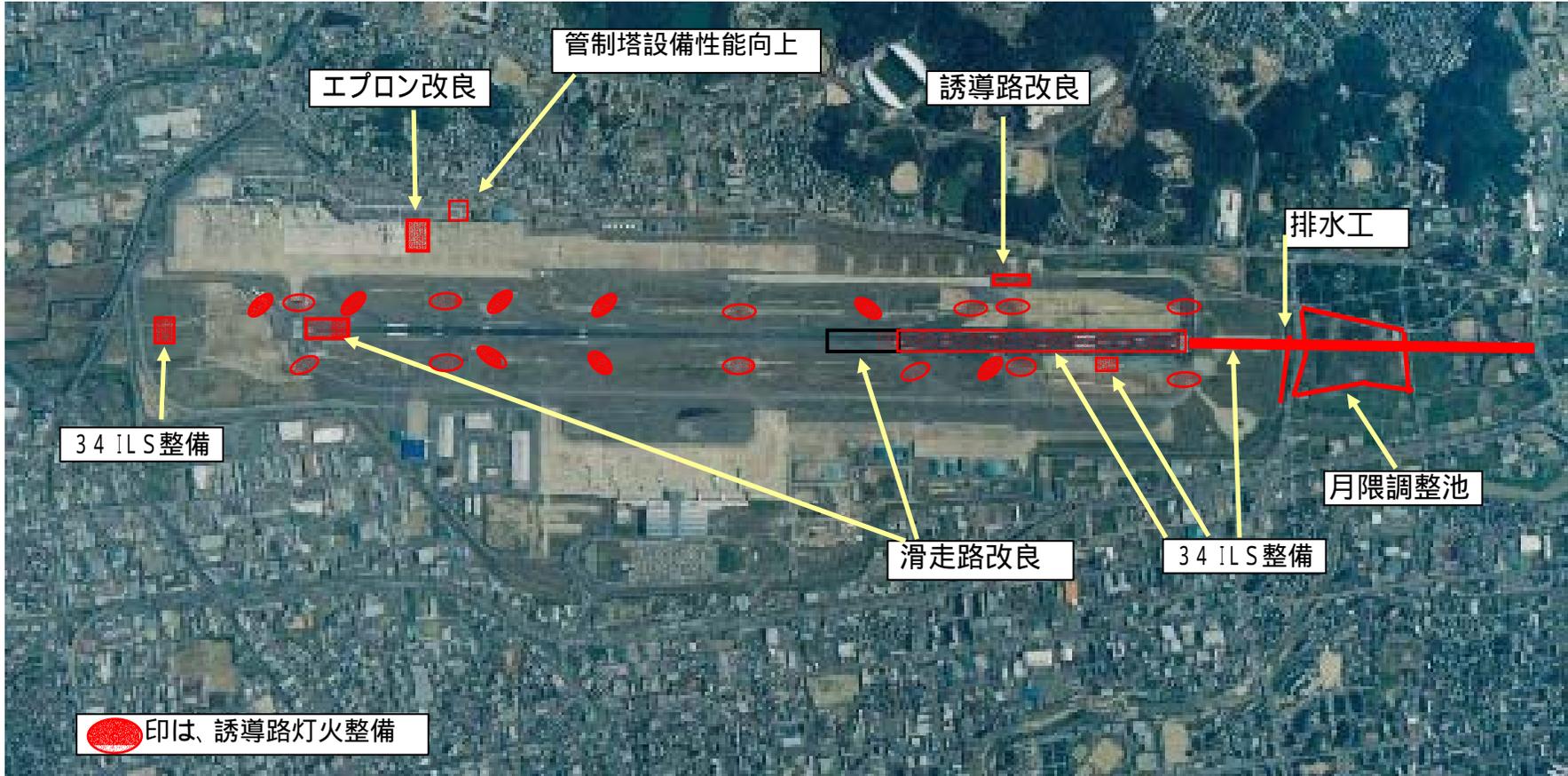
### < 福岡空港の国内線利用客の背後圏域 >

- ・ 福岡空港の航空利用客の 9 割が国内線の利用客である (残り 1 割が国際線利用客)
- ・ 福岡空港の国内線利用客のうち、福岡都市圏を出発地・到着地とする旅客が全体の 5 割、北九州都市圏が 1 割、佐賀県が 6 %



# 平成15年度 福岡空港整備事業実施箇所

平成15年3月撮影



平成15年度事業 事業費約9.9億円(九州地方整備局)

施設	実施内容	事業費
滑走路改良	劣化対策	約3億円
誘導路改良	東側平行誘導路改良(RC版舗装)	約2億円
エプロン改良	国内線エプロン(No11付近)全面改良	約1.5億円
用地造成	排水工、調節池埋蔵文化財発掘調査	約3.3億円

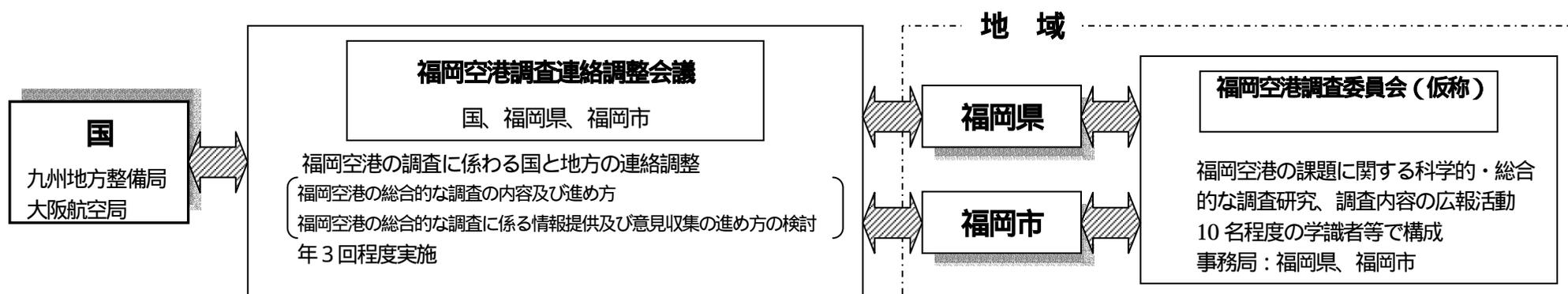
平成15年度事業 事業費約18.9億円(大阪航空局)

施設	実施内容	事業費
34 ILS整備	ILS装置、標準式進入灯火、滑走路灯火整備	約5.8億円
管制塔設備	管制塔設備の性能向上	約1.6億円
滑走路灯火	滑走路改良に伴う、滑走路灯火等の整備	約0.4億円
誘導路灯火整備	誘導路改良に伴う、誘導路灯火の整備	約0.1億円
誘導路灯火整備	停止線灯の整備	約6億円
用地造成	空港内民有地の用地買収	約5億円

## 福岡空港の総合的な調査(案)

区分	国	地域
滑走路増設をしない場合の現空港の能力の見極め	航空利用者の視点に立った航空サービスの評価基準の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港能力の考え方の整理</li> <li>航空サービスに係る指標及び評価方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空サービスの現状及び利用者ニーズの把握( )</li> </ul>
	現空港の有効活用方策の検討	
将来需要への対応方策の検討	地域から見た福岡空港の役割と効果に関する検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要地域拠点空港の役割と効果の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空の利用特性の把握( )</li> <li>空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討</li> </ul>
	将来の航空需要の予測	
将来需要への対応方策の検討	近隣空港との連携方策の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空需要の分析</li> <li>地域特性等を考慮した航空需要予測手法の開発と実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空利用者等の現状・動向等地域特性の整理( )</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣空港との連携に向けた基本的枠組みの検討</li> <li>近隣空港との連携方策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空港連携に関する事例等の収集・整理</li> <li>近隣空港との連携方策の検討</li> </ul>
	現空港における滑走路増設の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>滑走路増設に係る空港の計画要件の検討</li> <li>現空港における滑走路増設の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>滑走路増設の資料収集・整理</li> <li>滑走路増設に伴う影響と効果の検討</li> </ul>
新空港の検討		
<ul style="list-style-type: none"> <li>空港の計画要件の検討</li> <li>新空港の検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>空港立地の考え方の整理</li> <li>新空港に係る基礎検討</li> <li>現空港用地の開発計画の検討</li> </ul>
と り ま と め		

## 福岡空港の総合的な調査についての調査推進体制イメージ（案）



## 福岡空港の総合的な調査 平成 15 年度の実施内容（案）

## （ 1 ）滑走路増設をしない場合の現空港の能力の見極め

航空利用者の視点に立った航空サービスの評価基準の検討

福岡空港の空港能力の見極めを行うため、空港能力の考え方を整理した上で航空サービス及び利用者ニーズを把握し、航空利用者の視点に立って空港能力を評価する方法の検討を行う。

- ・ 空港能力の考え方の整理（国）
- ・ 航空サービスの現状及び利用者ニーズの把握（地域）
- ・ 航空サービスに係る指標及び評価方法の検討（国）

現空港の有効活用方策の検討

現空港を最大限に活用する方策の検討を行うため、福岡空港の需要の分析を行い、空港能力の向上に向けた利用方策を抽出するとともに、空港の運用実態の分析を行い、空港容量を制約する課題を抽出する。

- ・ 福岡空港の需要分析と利用向上方策の抽出（国）
- ・ 現空港の運用実態分析と課題の抽出（国）

## （ 2 ）将来需要への対応方策の検討

地域から見た福岡空港の役割と効果に関する検討

福岡空港の社会経済的な効果や役割等について整理するとともに、主要地域拠点空港の役割を検討し、国内外の社会経済情勢の変化に対して地域をとりまく課題を踏まえ、福岡空港の将来像を検討する。

- ・ 航空の利用特性の把握（地域）
- ・ 主要地域拠点空港の役割と効果の検討（国）
- ・ 空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討（地域）

将来の航空需要の予測

航空利用者等の現状・動向等の特性を踏まえ、航空需要予測を行うための需要動向等の諸条件を分析する。

- ・ 航空利用者等の現状・動向等地域特性の整理（地域）
- ・ 航空需要の分析（国）

## 今後の開催予定

第2回連絡調整会議 ; H15年10月末頃

<主な議題>

- ・総合的な調査に係る情報提供及び意見収集方策の進め方について（中間報告）
- ・H16年度の調査計画の方向性について
- ・その他

第3回連絡調整会議 ; H16年 3月頃

<主な議題>

- ・総合的な調査に係る情報提供及び意見収集方策の進め方について（最終報告）
- ・H15年度の調査結果とH16年度の調査計画について
- ・その他